



# 憲法公布 75 周年 改憲阻止へ力合わせ

被爆と戦争体験し憲法に生きる  
植野克彦さん(植野陶器社長)  
松崎淳子さん(土佐伝統食研究会長)

●11月3日、  
「憲法公布 75  
周年県民のつ  
どい」がひら  
かれました。

直前の総選挙で改憲勢力が2/3以上となった事を受け、会場いっぱい150名もの参加者となり、9条を守り抜く熱気にあふれました。故井上ひさしさんのビデオ講演で、9条の人類史的先駆的値打ちを再確認できました。植野克彦さんは、広島での被爆の体験から、二度と核被災者をださないために、被爆体験を語り継ぐ決意を話されました。また、こうち9条の会代表で県立大学名誉教授でもある松崎淳子さんは勤労奉仕の女学生時代の空襲体験、戦後に土佐弁で語る憲法と出会い、憲法に生きる決意を語りました。

自公と維新などの憲法改悪の動きを戦後日本の原点に立って押し返すため県民の力を合わせることが確認されたつどいでした。

## 【ご案内】

●12月4日(土) 13:00~16:00 県民文化ホール4階  
あなたはどうか考えますか？別姓、同姓、選択する自由

①講演；二宮周平さん(立命館大学法学部教授)

「選択的夫婦別姓制度をめぐる現状と課題」

②パネルディスカッション

夫婦別姓当事者2例(事実婚と通称選択)

子どもの立場から 市町村議会での論戦から



ありがとう

瀬戸内寂聴さん

★あたたかい語り口で  
庶民の悩みに耳を傾け  
自由に生きなさいと励  
まし続けてくれた、作  
家・僧侶の寂聴さんが  
9日、心不全のため京  
都市の病院で死去しま  
した。99歳でした。

戦争・原発反対に情  
熱を傾け「女性9条の  
会」呼びかけ人、東日  
本震災後は慰問や原発  
なくす運動などに奔走。



2015年6月には戦争法に反対し93歳で車いすであ  
るにもかかわらず国会前に参加し座り込んだ姿に、本当に  
励まされました。「安倍9条改憲ノー！全国市民アクション」  
発起人。「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を  
求める署名」共同呼びかけ人。文化功労者、文化勲章受章。

★「私は選挙では、いつも共産党に入れていきます。戦

争に反対し、貧しい人の側に立ち、その姿勢を  
貫いているからです」と、日本共産党への支  
持、推薦をいつも表明して下いました。そして  
今回の総選挙では「野党がまとまって自民党政  
権を倒し新しい政権を作る事を期待していま  
す。そのために共産党はもっともっと議席を増  
やしてほしい」と語ってくれていました。  
ありがとう 寂聴さん。



キラリン  
にゃんでも通信